

題名	第4回旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場活用検討委員会 議事録概要		
日時	平成29年1月27日(金)	場所	仮設庁舎3階 会議室301

発言者	発言内容
事務局	(1) 活用の基本的な考え方について ① 目指す姿について ② 対象(利用者)について 《資料1に基づき、説明》
委員	目指す姿の「前回の意見のまとめ」に記載されている「飛行」は、具体的にはどのような意味をイメージしているのですか。
事務局	前回、飛行の歴史や平和利用を紹介してはどうかとのご意見をいただいたことから「飛行」というキーワードを付け加えさせていただきました。
委員	目指す姿の中の「地域の振興」のイメージはどのようなものですか。
事務局	前回、観光に関するご意見をいただきました。川田谷地域には様々な観光資源があるので、それらとの連携も視野に入れて、地域全体の振興という意味で「地域の振興」と整理させていただきました。
委員長	その他ご意見がなければ事務局案のとおりでよろしいでしょうか。
	《異論なし》
委員長	対象(利用者)についてはどうでしょうか。
委員	事務局案で問題ないと思います。
委員長	その他ご意見がなければ、事務局案のとおりでよろしいでしょうか。 《異論なし》

事務局	<p>(2) 建物の活用方針について</p> <p>①施設で行われる取組みについて</p> <p>②取組みから想定される部屋の種類について</p> <p>《資料2・3に基づき、説明》</p>
委員	<p>飛行学校についての見学は無料なのか有料なのか、次回決めるのか、既に決まっているのか教えてください。施設の内容を検討するにあたり、有料施設か無料施設かによって内容が変わってくると思います。</p>
事務局	<p>有料か無料か含めて施設の管理運営について、次回、ご検討いただくことを予定しています。</p>
委員長	<p>それでは、「①施設で行われる取組みについて」の検討から始めます。資料2には皆さんの意見や他事例が記載されています。追加意見や質問を含めてご意見があればお願いします。</p>
委員	<p>阿見町の予科練のホームページを見ましたが、予科練が今のまちづくりに影響していることが紹介されています。飛行学校があったことが桶川のまちづくりにどのように影響しているかを紹介してはどうですか。</p>
事務局	<p>参考にし、検討いたします。</p>
委員長	<p>委員としての意見ですが、戦後引き揚げてこられた方が住んでいらしたので、戦後の分教場の歴史もあった方がよいと思います。</p>
委員	<p>「平和を発信」とありますが、現在の状況がどうなっているのか、世界各地に紛争が起こっていることなどを紹介して来館者に平和の尊さを実感してもらってはどうか。</p> <p>難しいとは思いますが大事なことであると思います。今現在の生活に結びつけて考えてもらう工夫が必要であると思います。</p>
事務局	<p>阿見町の事例も、過去を踏まえて現在があるという考え方で整理していますが、いただいたご意見も含めて平和を発信する項目の中で考えていきたいと考えております。</p>

委 員	過去の歴史から今を生きることをうまく整理すればよいと思います。
事務局	これまでのご意見として、なぜ戦争が起きたのかという裏側のことを学ぶというご意見もありました。過去の事実をきちんと伝えていければよいと思います。
委 員	「桶川分教場の役割を伝える」の項目にある「地元民家の～」の文章の主旨を確認したいのですが。
事務局	市民の方の家に、軍服など当時の資料が残っているので、所有者の理解が得られる場合は、展示してもよいのではないかとのご意見がありましたので記載しました。
委 員	当時のものを調べて、所有者の了解が得られたものについては展示するというのでしょうか。
事務局	そうです。
委 員	飛行機のレプリカ展示が記載されています。当時飛行学校で使用していた飛行機は赤とんぼを使ったと思いますが、可能であれば出来るだけ実際の機体に近いレプリカを作ってもらえるとよいと思います。 本田航空が実施している航空教室で、実際の飛行機の操縦席に座るイベントがありますが、参加した子どもには好評のようです。
委 員	飛行機のレプリカ展示はこの飛行学校のアピールポイントになると思います。
委 員	過去にある企業が赤とんぼを復元するとの報道がありましたが、その後実際に作られているか分かりません。模型の作成には費用がかかるので市独自につくるのではなく、それをお借りすることが考えられます。
委 員	予科練平和記念館に零戦のレプリカが展示されていたので参考にしたらよいと思います。
委 員	レプリカを提供していただけることについてご理解いただけるなら、お借りして展示することは可能であると思います。

事務局	<p>飛行機のレプリカについては第2回委員会で皆さんからご提案がありました。</p> <p>阿見町の施設にあるレプリカは、実物大ですが、市がレプリカをつくるのは莫大なお金がかかるので、実際に展示する場合は関係者の皆さんのご協力が必要だと思います。</p> <p>本田航空の航空教室は小学生を対象に実施されています。本田航空と連携し、そのようなイベント等が桶川分教場で実施できるか、検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>先ほどの話は企業が独自にレプリカを作っているのですか。</p>
委員	<p>民間企業が自主的につくるとの報道記事が2年前にありましたが、その後どうなったのか把握していません。</p>
委員	<p>それが実現するなら良い資料なので、是非その企業と話し合っ展示を実現してほしいです。</p>
委員	<p>実際にその機体が飛べなくても、コックピットに座れるだけでもよいと思います。</p>
委員長	<p>レプリカは非常に費用がかかるし、陸軍の飛行機として、所沢にも展示していると思うので引き続き検討してください。</p>
委員	<p>駅からハイキングの参加者の皆さんの感想を聞いている実感として、飛行学校やホンダエアポートをまわる観光客向けの散策ルートとして、ホンダエアポートを見てから、飛行学校を見るか、先に飛行学校を見てからエアポートを見るかによって、ホンダエアポート（飛行場）に対する印象が変わってくるので、工夫が必要だと思います。</p>
委員長	<p>皆さんのご意見として、「現在のまちとの関わり、意味合いを分かるようにする」「平和とは何か考えられるようにする」「レプリカ展示の実現可能性を検討していく」「飛行の話と過去の話をどのように伝えるのか工夫が必要」といった意見が出ました。</p>
委員長	<p>それでは、次に「②取り組みから想定される部屋の種類について」ご意見、ご質問がある方はご発言願います。</p>

委 員	建物の歴史的価値について、現地見学した際に、トラス構造や尺貫法とメートル法が混在した建物であることを説明いただきましたが、これらの歴史的価値を伝える方がよいと思います。
委 員	歴史的価値を伝えるため、整備後に、どこが当時の状態を復原したところで、整備によってどのように変化したのか比較が出来るような展示、説明があるとよいと思います。
委 員	トラス構造の小屋組みは、天井が張られていない車庫棟で見られるので、小屋組みをライトアップすればよいと思います。
委 員	ガイドをするときに、どこがオリジナルの部材で、どこが修理で交換した部材と説明できるようにしてほしいです。
委 員	尺貫法とメートル法が混在した工法は、現代では一般的でない技術であることも説明したほうがよいと思います。
委 員	当時の社会情勢を背景として、尺貫法とメートル法が混在した工法で建てられた事実を伝えるということがよいと思います。
委 員	なぜそのような工法を採用することになったのか、理由を解説している展示があればよいと思います。
事務局	いただいたご意見を踏まえ、工夫をしていきたいと思えます。
委 員	復元室とはどのようなものでしょうか。
事務局	兵舎棟は寄宿舍として利用されていたので、当時の部屋の使い方を再現することを想定しています。
委員長	整理すると、建物の歴史的価値について、なぜトラス工法なのか、尺貫法とメートル法が混在しているのかその理由、工法などの事実が分かるように説明の仕方を工夫する、というご意見でしたので、事務局で検討してください。

事務局	(3) 敷地の活用方針、各施設のゾーニングについて 《資料4に基づき、説明》
委員	敷地全体のゾーニングについて、敷地の北端は敷地外の道路と接道しているのでしょうか。また、導入ゾーンの先も接道しているのでしょうか。
事務局	どちらも接道しています。
委員	敷地の西側にそって、繁茂している林があります。桶川飛行場の敷地は小高い位置にあるので、樹木を整理すれば、ホンダエアポートから飛行機が離陸する風景が見えるようになると思います。見学者に桶川飛行場の滑走路の位置を説明することもスムーズに出来ると思います。
事務局	林は私有地であることから、今回の保存活用計画の中で民地の管理方法について、記載することは難しいと思われ
委員	ます。 兵舎棟の管理スペースとされている区画の一部の部屋は、桶川分教場の頃に医務室があり、医療機器を煮沸したり薬を管理したりしていた部屋である可能性があります。医務室を復元室か展示室として活用したほうがよいと思います。
委員	見学時間はどの程度の時間を見込んでいるのでしょうか。
事務局	見学時間はまだ想定できません。施設の説明者を置く場合は、その説明内容によると考えております。
委員	展示方法について、今後の検討の参考として話しますが、コンパクトな展示をするなら、福島県の展示施設「野口英世記念館」を参考にするとよいと思います。
委員	消失した建物の説明と記載されていますが、何をするのでしょうか。
事務局	消失した建物の中には基礎が残っているものもあります。現時点で、具体的な方法や内容は決めていませんが、建物跡は基礎からおおよその建物の規模を知ることができるので、説明板を設置することを考えています。

委 員	鳥取県の方で遺跡公園でVR（バーチャル・リアリティ）を活用している事例があるので、今後の検討の参考にしてください。
委員長	ここまでのご意見を整理すると「医務室としての展示活用を検討する」「見学時間のボリュームを整理する」「コンパクトな展示について検討する」「消失した建物のVR等の活用を含めた検討をする」といった意見が出ましたが、その他ご意見があればお願いいたします。
委 員	敷地境界に、飛行学校当時に設置された境界杭が多数残っています。これは保存されるのでしょうか。
事務局	残っている境界杭については、そのまま動かさず保存する予定です。
委 員	座る場所が少ないと言われるので、屋外にベンチがあるとよいと思います。
委 員	広場ゾーンとは何でしょうか。
事務局	平成26年に策定した基本計画で敷地全体のゾーニングを定めており、同計画ではイベント広場としての活用を想定しています。
委 員	現状では砂利敷になっていますが、最終的に芝生広場に整備するのでしょうか。
事務局	かつての飛行学校をありのままに復元するなら、手を入れない考え方があります。また、今後、映画のロケ等に活用されることも想定すると、固定した物や舗装等の整備は行わないという考え方もあります。
委員長	皆さんからいただいたご意見を整理すると、「境界杭は展示物として保存する」「ベンチを設ける」「広場ゾーンについては、桶川分教場当時の環境を考慮する」といった意見が出ました。市でこれらの意見をもとに検討してください。